

# 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

## 中小企業<sup>(※)</sup>の経営支援に関する取組方針

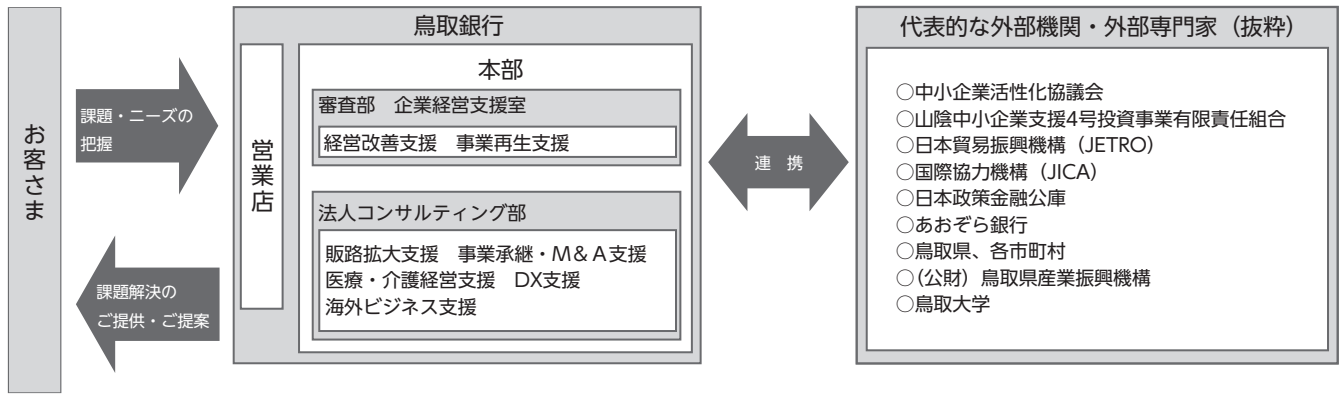
当行では、中小企業の皆さまとの接点や日常的・継続的な信頼関係を一層強化するとともに、営業店と本部との連携によって、中小企業の皆さまの課題解決や経営支援に取り組んでまいります。

また、行政や外部機関・外部専門家等とも連携し、中小企業の皆さまの経営支援とともに、地域経済の活性化や成長に向けて取り組んでまいります。

(※)小規模事業者を含みます。以下も同じです。

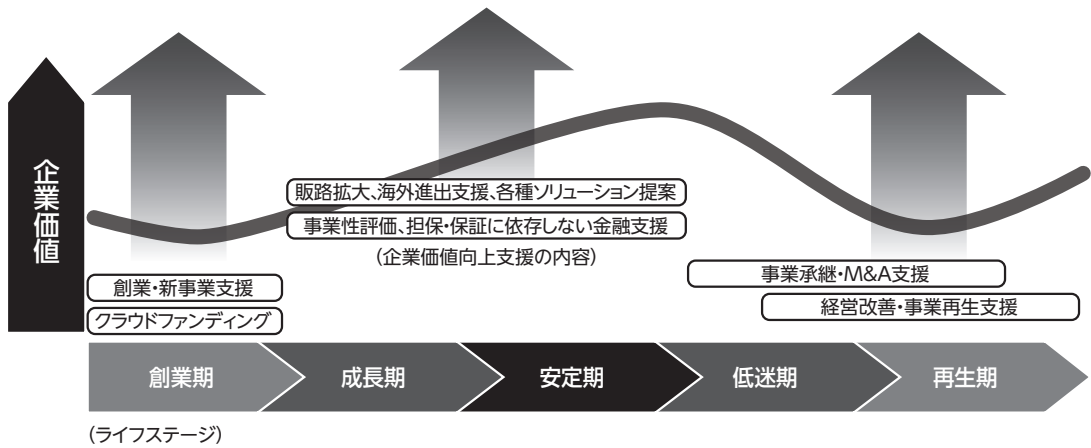
## 中小企業の経営支援に関する態勢整備

当行では、営業店、本部が一体となって中小企業の皆さまの経営支援に取り組んでいるほか、外部機関や外部専門家とも連携し、お客さまの課題解決のためのサポートを実施しております。



## 中小企業の経営支援に関する取組状況

当行ではコンサルティング機能を発揮することで、中小企業の皆さまのライフステージに応じた様々な企業価値向上支援に取り組んでおります。



### 1. 創業・新規事業開拓の支援

#### ■創業・新事業支援への取組み

創業・新事業進出における事業計画の策定から情報提供、ご融資、地方創生ファンドやまちづくりファンドを活用した出資等による資金調達などを支援しております。

#### ●当行が関与した創業、第二創業の件数

	2024年9月期	2025年9月期
創業件数	33件	41件
第二創業の件数	2件	2件

#### ◎創業等支援の主な内容

創業計画策定サポート
事業計画・資金調達計画の策定支援
資金サポート
ご融資、補助金・助成金、クラウドファンディング等による資金調達支援
経営サポート
経営相談や各支援機関・提携先等のご紹介、販路拡大等課題解決支援



## 事例のご紹介 「とっとり共創フロンティアファンド」の設立

当行では地域金融機関ならびにとっとりキャピタル株式会社および地域課題の解決や地域振興に特化した事業を展開する株式会社エブリプラン(松江市)と共同出資し、「とっとり共創フロンティアファンド投資事業有限責任組合」を設立いたしました。

本ファンドは金融機関や事業会社といった異なる立場の組織が、それぞれの強みを持ち寄り「共創」して新たな事業機会や価値創出に取組むことで、地域産業の競争力強化や地域経済の活性化を図ることを目的としています。

## 【ファンドの概要】

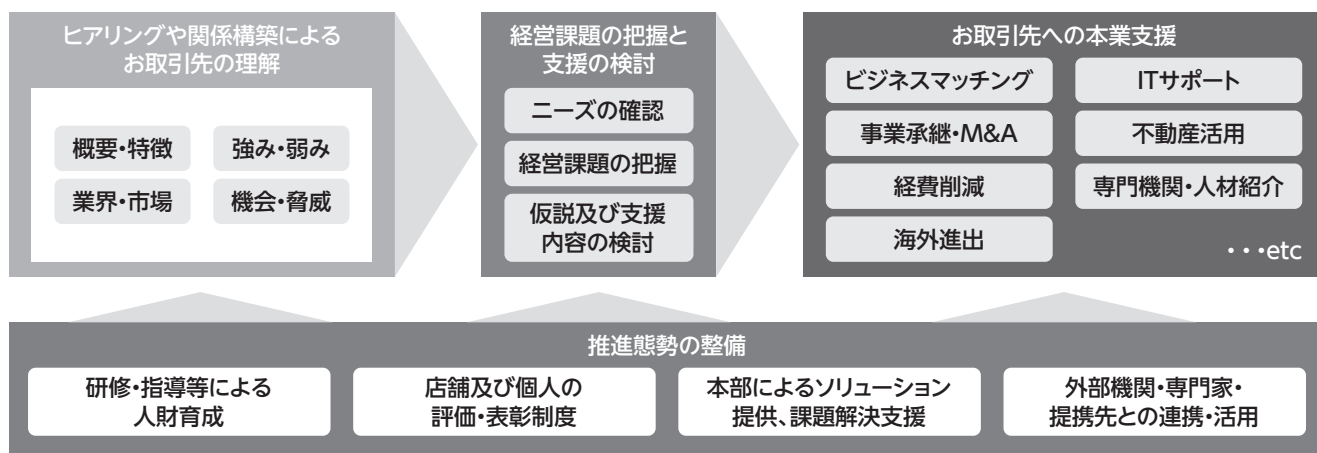
ファンド名称	とっとり共創フロンティアファンド投資事業有限責任組合
設立日	2025年6月2日
ファンド総額	3億円
有限責任組合員	株式会社鳥取銀行 株式会社エブリプラン 鳥取信用金庫 倉吉信用金庫 米子信用金庫
無限責任組合員	とっとりキャピタル株式会社
組合存续期間	10年間

## 2. 成長段階における支援

### ■事業性評価に関する取組み

お取引先企業の成長・発展をサポートしていくため、財務内容だけではなく、企業の強み・弱みや経営環境、成長可能性等を適切に評価(事業性評価)し、お取引先企業の課題解決につなげる取組みを進めております。

### ◎事業性評価のフロー(流れ)



### ■課題解決型コンサルティング支援の取組み

当行では、目指す姿に掲げる「コンサルティングバンク」を、「お客さま起点で、お客さまの課題や求める姿、ビジョン等を共有し、解決に導く存在」と定め、課題解決型コンサルティング支援を行っています。

具体的には、お取引先に対し、M&Aによる事業承継支援や、ビジネスマッチングを通じた販路拡大支援、省エネや効率化による経費削減提案、ICTツールの導入支援などが挙げられます。また、お取引先への補助金採択支援も積極的に行い、お客さまの設備投資など前向きな取組みを後押ししました。

## 事例のご紹介 フードセレクションへの出展支援

当行では、お取引先への販路開拓支援の一環として、毎年「地方銀行フードセレクション」への出展支援を行っています。

2025年下期は24社の出展支援を行い、お取引先の商談機会を創出しました。

また、出展企業が用意されるもやむを得ず余剰となってしまう未使用の試食品を募り、認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえを介して、子ども食堂に寄付いたしました。子ども食堂への寄付につきましては昨年度に引き続き、2度目の取組みとなります。



# 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

## ■事業承継支援の取組み

当行が主要な営業基盤を置く山陰地方は後継者不在率が非常に高いことから、当行では、事業承継を重要な地域課題と捉えており、法人コンサルティング部内に専門担当者を配置し、積極的な事業承継支援を行っております。特に、事業承継支援の手法のひとつであるM&Aは、売り手の後継者不足と買い手の事業拡大を両面から支援し、地域の雇用確保と産業の発展につながるソリューションとして推進しております。

### 事例のご紹介 9団体連携による事業承継合同セミナーを開催

2025年8月5日に鳥取会場、6日に倉吉会場で、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社や鳥取県のほか各税理士法人など、当行を含め9つの団体で連携し、事業承継合同セミナーを開催しました。業界や団体の垣根を超えて、多様な立場のプロフェッショナルが連携することで、地域の事業者へ課題解決に向けた糸口や実践的なアイデアを提供し、本セミナーには延べ73名の方にご参加いただきました。



## 3. 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

### ■経営改善支援への取組み

当行では、2023年6月より行内横断的な「中小企業活性化プロジェクトチーム」を設置し、組織一丸となってお取引先の経営支援に取り組んでおり、営業店および本部が連携し、事業性評価とアクションプランの策定・実施を通じ、経営改善支援に注力しています。

また、2024年5月からは営業店に「中小企業活性化担当者」を配置いたしました。同担当者の「中小企業活性化プロジェクトチーム」への参加により、当行ではこれまでの組織一丸となった経営改善支援を更に発展させ、融資人財の育成や、お取引先への支援を強化しております。

### ●経営改善支援等の取組み実績

		2025年9月期		
		期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組先 α	αのうち期末に債務者区分が ランクアップした先数 β
要注意先	正常先 ①	4,274件	21件	
	うちその他要注意先 ②	1,183件	59件	1件
	うち要管理先 ③	7件	0件	0件
	破綻懸念先 ④	316件	4件	0件
	実質破綻先 ⑤	42件	1件	0件
	破綻先 ⑥	7件	0件	0件
	小計(②～⑥の計)	1,555件	64件	1件
合計		5,829件	85件	1件

## 4. 経営者保証に関するガイドラインへの取組み

### ■経営者保証に関するガイドラインの活用

当行は経営者保証に依存しない融資の一層の促進を図るため、「経営者保証に関するガイドライン」に基づき適切な対応に努めております。

### ●経営者保証に関するガイドラインの活用状況

	2024年9月期	2025年9月期
新規に無保証で融資した件数(A)	1,274件	1,359件
保証契約を変更した件数	0件	0件
保証契約を解除した件数	176件	116件
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	3件	3件
新規融資件数(B)	1,910件	2,058件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合(A)/(B)	66.70%	66.03%

### 「経営者保証に関するガイドライン」とは…

中小企業・小規模事業者等の経営者の皆さまが金融機関に差し入れている個人保証について、保証契約を締結する際や金融機関等の債権者が保証履行を求める際における中小企業(債務者)、保証人、債権者による自主的なルールです。詳しくは全国銀行協会ホームページをご覧ください。

<https://www.zenginkyo.or.jp/adr/sme/guideline/>



## 地域の活性化に関する取組み状況

### ■皆生温泉の再生及び活性化に係る連携協定を締結

2025年9月、当行では皆生温泉地区の魅力向上と賑わい創出を目指し、米子市、皆生温泉旅館組合、皆生温泉観光株式会社、米子信用金庫、株式会社山陰合同銀行、株式会社商工組合中央金庫、株式会社地域経済活性化支援機構と「皆生温泉の再生及び活性化に係る連携協定」を締結いたしました。

本協定は皆生温泉地区について、温泉及び宿泊施設等の老朽化したインフラ設備の更新や景観整備、人手不足対策などについて各機関が連携・協力することで、持続可能な温泉地づくりの実現を図ることを目的としています。



### ■企業版ふるさと納税マッチング支援

当行では企業版ふるさと納税(正式名称「地方創生応援税制」)を活用した自治体および企業への支援に取り組んでいます。

2025年上期には岡山県津山市に本社を置く株式会社美作グループ本社の、日吉津村における地方創生の取組みのさらなる充実・強化への想いを受け、日吉津村の寄附対象事業「元気なむらづくり事業」への寄附が実現しました。



### ■とりぎん青い鳥基金により持続可能な地域づくりに取組む団体を支援

とりぎん青い鳥基金は、鳥取県初の公益信託として2000年に設立されました。また、2020年4月より「公益財団法人とっとり県民活動活性化センター」をパートナーに迎え、地方創生SDGsの実現を目的とした事業として、鳥取県内で持続可能な地域づくりに取組む団体を支援しています。2025年上期(第50回)の助成先は下記のとおりです。



団体名	活動内容
特定非営利活動法人みんなの家	地域共生社会の実現を目指し、障がい者と鳥大生の協働で新たな地域食堂「共生食堂ましろ」を立ち上げる。
るりゅーる	子育て家庭が主体的かつ双方向的に学び合うプログラムを提供し、地域に根差した持続可能な子育て支援と防災力強化を実現する。
NPO法人むきばんだ応援団	むきばんだ史跡公園内の植物に関する情報や植物観察の楽しさを伝えるため、植物MAPを作成し訪問者等に無償配布する。
シネマドア鳥取	まちなかにミニシアターを新設、映画上映だけでなく世代や属性を超え、誰もが気軽に集まれる「コミュニティシアター」をつくる。

### ■地域の金融教育に関する取組み

当行では持続可能な地域社会の実現に向けて、地域の金融教育の普及に努めています。2025年8月には倉吉市にて、大山田ノ丸証券株式会社と共同して、お金の使い方や知識を遊びながら学べ、また銀行や証券会社の仕事を体験できる親子向け金融イベント「親子で学ぶ金融教室」を開催し、17組50名のご家族に参加いただきました。





## 編集 鳥取銀行経営統括部

〒680-8686 鳥取市永楽温泉町171

TEL 0857-22-8181 (代)

<https://www.tottoribank.co.jp>

2026年1月発行